

インタビュー研究協力をお願い 『医学教育において性別による違いってある??』

みなさんは、医学部での学びや経験の中で、「男性だから…」「女性だから…」という違和感を感じたことはありませんか？

私たちは日本の医学教育においてどのような場面で性別に由来する認識や対応の違いが存在しているのか、またそれらがどのように医学生・医師に影響を与えているのかについて研究しています。この研究では、医学生および医師の方々に医学部での学びや経験における性別に由来する認識や対応の違いに関するご自身の気づきやご経験についてお話しいただいた内容を分析します。

現在グループインタビューにご協力いただける医学生・若手医師を募集しています。本研究における研究参加者の条件・ご協力いただく内容については以下の通りです。

【研究参加者の条件】 医学生（2023年度）

【ご協力いただく内容】

対面もしくはオンラインにて約1時間のフォーカスグループインタビューを行います。性別に由来する認識や対応の違いについてどのようにとらえているのか、また医学教育の中でどのような改善を期待するか、また性別に由来する認識や対応の違いがどのような影響を与えているのか、などについてグループでのディスカッションを行います。インタビューの内容は参加者の同意を得た上でICレコーダーにて録音し、かつビデオで録画を行います。

【謝礼】 あり。（医学生 2000円相当の金券）

【申し込み方法】 メールか申し込みフォームにてお申込みください。

メール:fammed@hama-med.ac.jp

申し込みフォーム: <https://forms.gle/JCkQbmJjXSDkZgRF7>



【一次締め切り】 9月末

詳細につきましては個別にご説明させていただきます。

少しでもご興味・関心のある方、お気軽に下記連絡先までお問合せ下さい。

【問い合わせ先】 浜松医科大学地域家庭医療学講座

Tel: 053-435-2416 Mail: fammed@hama-med.ac.jp （研究担当者: 松井智子）

『医学生・若手医師の医学教育に潜むジェンダー・バイアスの認識：フォーカスグループインタビューを用いた質的研究』

本研究は浜松医科大学臨床研究倫理委員会の承認を得て実施されます。